

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月19日（木）

2 確認箇所

既設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

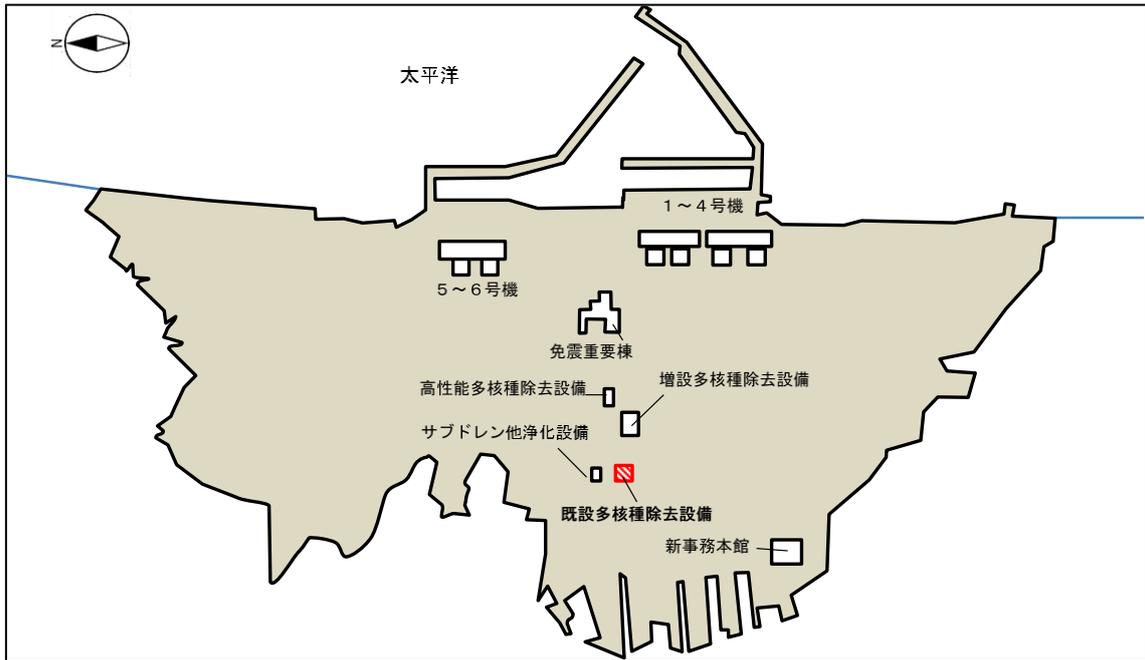
既設多核種除去設備保守・点検作業等の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の保守・点検状況を適宜確認している。

本日は、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）建屋内で実施されている設備機器の保守・点検作業等の状況を確認した。（前回確認日：[令和6年12月18日](#)）

- ・現場確認時、既設ALPS（A系、B系、C系）は保守・点検作業等のため停止中であった。
- ・当日は、建屋内北側に設置されている吸着塔において、吸着剤交換に向けた準備作業が行われていた。現場確認時に、東京電力社員が吸着剤交換に伴う系統構成（バルブ操作）を行っていた。バルブ操作に際し、手順書やバルブ表示札をもとに操作対象バルブであることを確認していた。（写真1）
- ・上記作業とは別に、建屋内中央部において、スラリー拔出装置（SEDS）試運転に向けた系統確認が行われていた。現場確認時に、系統図と現物の照合作業が行われていた。（写真2）
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
吸着剤交換に伴う系統構成の状況①



(写真1-2)
吸着剤交換に伴う系統構成の状況②



(写真2)
スラリー抽出装置（SEDS）試運
転に向けた系統確認の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。